

2011 夏休み企画

彫刻の森美術館  
THE HAKONE OPEN-AIR MUSEUM

## リコーフォトフェス「彫刻のある風景2011」

- 開催場所：彫刻の森美術館 美ヶ原高原美術館
- 開催期間：2011年7月16日(土)～8月31日(水)
- 応募部門：彫刻のある風景部門…両美術館内で撮影された風景写真、人物写真など。  
ハイ!Do像部門…彫刻作品とポーズをとった家族や友人の写真。  
仮面でポーズ部門…ワークショップでつくった仮面をつけて彫刻になりきろう。
- 応募方法：美術館ホームページ、フォトフェス専用ページより応募
- 共催：株式会社リコー
- 協力：株式会社キタムラ、M&B デザイン
- ホームページ：<http://oam-ricoh-photofesta.net/>

彫刻の森美術館と美ヶ原高原美術館では、来館者を対象としたリコーフォトフェス「彫刻のある風景 2011」を開催。野外美術館ならではの自然と彫刻の魅力を伝える写真や、彫刻と競演するユニークな写真を、幅広く募集します。また両美術館では、「写真教室」「デジタルカメラレンタル」「ワークショップ：魔法の仮面を作ろう!」を開催して、いろいろな写真の楽しみ方を提案します。



2010 ハイ!Do像部門 彫刻の森美術館賞

## 「魔法の仮面を作ろう!」

- 開催期間：彫刻の森美術館 森のアトリエ  
2011年8月13日(土)～8月21日(日)  
美ヶ原高原美術館 こども美術館  
2011年8月5日(金)～8月7日(日)
- 受付時間：9:00～16:00(常時受付)
- 参加費：1,000円
- 協力：株式会社パジコ、株式会社サンワ

リコーフォトフェス関連ワークショップ。カラフル粘土で、自分だけの魔法の仮面を作ませんか。完成したら仮面を装着!オリジナルポーズで野外彫刻になりきり、フォトコンテストに応募しよう。

しゃぼん玉のお城  
2011年夏休み リニューアルオープン

子供たちに絶大な人気を誇るプレスカulptチャー(遊戯彫刻)「しゃぼん玉のお城」。現在のものは1994年に制作された2代目。3代目となる新しい「しゃぼん玉のお城」は、ひときわ大きくなって新しく生まれ変わります。

※しゃぼん玉のお城で遊べるのは小学生以下です。※雨天時はご利用できません。

CRU CRU CIRQUE DX  
くるくるシルク デラックス

- 場所：円形広場
- 開催日時：8月12日(金)、13日(土)、14日(日)  
①11:00～ ②14:00～

2003年に3人の男達で結成されたくるくるシルクだが、実はその2年前は4人だった。そのもう一人が、K-イスケだ。  
フランス国立サーカス大学でヌーボー・シルクの真髄を極めて帰ってきました。再び4人となり、くるくるシルクDXが誕生!!  
この4人の男達が、日本のサーカスパフォーマンスに新たな風を巻き起こします。



掲載画像等をご希望の方は、下記担当までご連絡ください。

- ※画像は、メールにてデータをお送りいたします。
- ※ご掲載や放送以外の目的での写真のご利用はご遠慮ください。
- ※事前に記事原稿を拝見させていただけますよう、お願いいたします。

〈お問い合わせ先〉 彫刻の森美術館 広報部  
TEL.0460-82-1161 FAX.0460-82-1169  
〈担当〉 辻井有里 tsujii@hakone-oam.or.jp



## Loafing and Rolling Around ~Let's Meet the Sculptures~

こどもたちと彫刻とのふれあいをテーマに、コレクションから4つの作品を紹介します。作品を鑑賞するだけでなく、遊びの要素を盛り込んだ会場には、彫刻の森美術館ならではの空間が広がります。イサム・ノグチの作品を中心に、こどもたちが隠れたり跳ねたり滑ったりしながら、アートのかたちや色を発見できます。また、親子で一緒に彫刻のそばに腰掛けたり、寝転がって眺めながら、思い思いの過ごし方で作品と親しめます。作品とその解説を通して、親子の新しい対話が生まれれば幸いです。

## ■2011年4月29日オープン

## ■会場：アートホール

## ■遊べる作品：

イサム・ノグチ「オクテトラ」

## ■観る作品：

アギュスタン・カルデナス「休息する女」

ジャン・アルプ「大きな種」

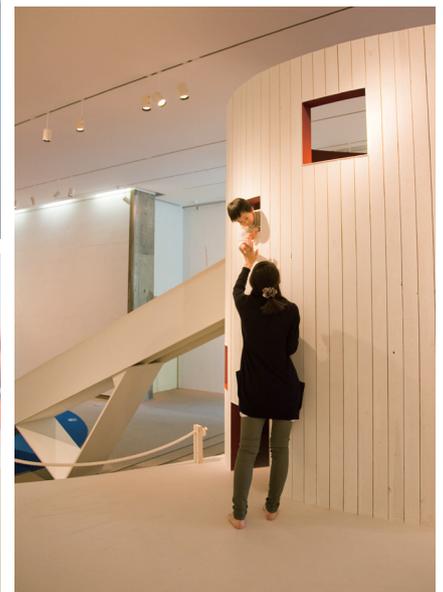
アレクサンダー・カルダー

「赤いペナントー吊るモビール」

## ■会場デザイン：みかんぐみ

## イサム・ノグチ (アメリカ 1904-1988)

国籍や民族の違いをこえて、人間に共通するものを求めた彫刻家として知られています。実際に体験することができるプレイ・スカルプチャー（遊べる彫刻）を数多く創作しました。触れることは、彫刻家が作品の制作過程で体験するのと同じくらい重要な意味を持っていると考えていたからです。



掲載画像等をご希望の方は、下記担当までご連絡ください。

※画像は、メールにてデータをお送りいたします。

※ご掲載や放送以外の目的での写真のご利用はご遠慮ください。

※事前に記事原稿を拝見させていただけますよう、お願いいたします。

〈お問い合わせ先〉 彫刻の森美術館 広報部

TEL.0460-82-1161 FAX.0460-82-1169

〈担当〉 辻井有里 tsujii@hakone-oam.or.jp